

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 保健医療政策課

担当名: 感染症・新型インフルエンザ対策

内線: 3564

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B3	新型インフルエンザ対策事業費			一般会計	衛生費	公衆衛生費	予防費	新型インフルエンザ対策事業費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 新型インフルエンザ等対策特別措置法	宣言項目		03	大地震など危機への備えの強化		
				分野施策		020519	感染症対策の強化		
1 事業概要 新型インフルエンザの発生・流行に備えた医療体制等を確保することにより、県民の健康被害や社会的影響を最小限に抑える。 (1) 医療体制等整備事業 契約差金等により減 14,806千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 医薬品確保対策事業 7,392千円 新型インフルエンザ等の流行に備え、抗インフルエンザウイルス薬を備蓄し、適切に保管する。 イ 医療体制等整備事業 100,712千円 新型インフルエンザ等の流行に備え、医療体制の確保及び検査体制の強化等を図る。 (2) 事業計画 ア 医薬品確保対策事業 (ア) 抗インフルエンザウイルス薬の適切な保管(タミフル、リレンザ、ラピアクタ、イナビルの備蓄) (イ) 抗インフルエンザウイルス薬の放出(新型インフルエンザ等流行時における備蓄薬の搬出運搬) イ 医療体制等整備事業 (ア) 新型インフルエンザ等発生時の体制構築(国・県・市町村の連携) (イ) 新型インフルエンザウイルスの検査(衛生研究所における検査) (ロ) 陰圧テントの設置体制の整備(新型インフルエンザ発生時における県備蓄テントの機動力強化) (エ) 医療体制整備促進事業(委託事業) (カ) 地域別対策会議の開催(13保健所各1回) (キ) 新型インフルエンザ等専門家会議の運営(年3回会議開催) (ク) 九都県市新型インフルエンザ等感染症対策検討部会(会議、研修会等の開催) (ケ) 特定接種・住民接種体制の構築 (コ) 新型インフルエンザ等発生拡大期における資機材の備蓄 (サ) 新型インフルエンザ等発生初期における初動体制の整備及び訓練 (セ) 新型インフルエンザ等発生拡大期における埋葬に係る資材の備蓄 (3) 事業効果 発生時における県民の健康被害の抑制及び社会機能の維持 抗インフルエンザウイルス薬の行政備蓄量:平成28年度目標を達成 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 九都県市で連携し、広域的な取組を推進。 (5) 補正予算の概要 入札差金発生等による執行残に伴う減額補正。					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)、(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分) 衛生費 (細目) 2 感染症等対策費 (細節) 感染症等対策費 (積算内容) 抗インフルエンザ薬購入費									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×3.0人=28,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
		国庫支出金							
決定額	14,806							14,806	93,298
現計額	108,104	2,261						105,843	